

# 点訳通信

39号

盲人情報文化センター 点字製作係  
550-0002 大阪市西区江戸堀 1-13-2  
TEL 06-6441-0015 FAX 06-6441-0039

## 読者サービスボランティア

篠原苑子

毎週木曜、点訳校正の前後ほんの2、3時間ですが、4階の読者サービス係でお手伝いをしています。4階には二足の草鞋のボランティアが多く、対面朗読の方、音訳の方、通信類のカットをずっと引き受けておられる方、朝10時から夕方4時頃まで作業された上毎週1冊点訳の2枚を仕上げを持って来られる方、等々。その中でも私は点訳同様“出来る時だけボランティア”と言うところです。

びっしりと書架が並んだ奥の窓際、カードボックスの前の引き出し式テーブルが私の仕事机です。左側足元には郵送ケース、右側には図書検索・読者管理などのためのパソコンと電話が並んでいます。職員の皆さんはさまざまな作業や電話の対応で一日中殆ど立ちっぱなし。ボランティアの人たちも指示された仕事を黙々とこなしています。

電話が鳴ります。「はい、盲人情報文化センターです。」・・・「〇〇ですね。ちょっとお待ち下さい。今たくさんお待ちですが予約にされますか？」・・・「はい、それでは返却があり次第お送りします。」書架の〇〇の場所に順番待ちの印のラベルが貼られます。新刊案内が出ると電話が殺到しすぐに順番待ちになる本が多く、人気のある本の所には何枚もラベルが貼ってあります。

又電話です。「××ですか。」（ポンポンとコンピューターで検索）「××はテープはありませんね、点字ならありますが。」・・・「そうですか。では失礼します。」（点字は駄目なのか、ガックリ）

私の仕事は利用者の名簿管理や新刊案内「読書」・テープ雑誌「週刊新潮」の購読料請求など。コンピューターが導入される前は定期刊行物他の宛名印刷が昔懐かしい謄写版の方式で行われていましたので、私もその原版作りや住所変更・購読中止手続きにかなり手間どったものでした。旧式の機械で印刷しておられたボランティアの方こそ大変だったのですが。

慎重さに欠ける私、「このあいだ購読料を送ったのにまた請求が来ました」なんて苦情を受けては職員さんにフォローしてもらっています。ですから利用者さんからのお手紙にはどきどきするのです。「△△面白かったです」の様なメッセージならどんなに嬉しいことか…。4階でミスをして落ち込んでも3階で校正をしているうちにケロッと忘れ、反対に校正で充血した頭を4階でリフレッシュさせて貰っているような面、大いにあり。何だか校正表を頂いた後のあの落ち込みと、立ち直りの早さに似ています。

点訳を始めた頃は手がけた本の利用状況が気になって貸し出しカードをのぞいたりしたこともありましたが、でも、出来るだけ希望の本を早く届けようと、午後2時頃の発送時間ぎりぎりまで箱詰めす

るボランティアの方や、腰を痛めながら重いかごを郵便局の車に積み込む職員の方々に接し、点訳書でもテープでもフロッピーでも何でも良い、とにかくたくさん利用されるのを見るのが楽しみなこの頃です。  
(しのはら そのこ)

## お願い 点訳書

4月から11月まで製作された点字図書の分類別分布を調べたところ、文学書が56%を占めています。公共図書館の利用率は、約6割が文学書ですが蔵書構成はそれをかなり下回ります。

当センターが飛び抜けて、文学書が多いわけではありませんが、文学書以外の原本が点訳されずに残る傾向にあります。特に希望の多い旅行書や実用書などは点訳するには、難しいものが多いです。

「図表やイラストがある」「数学、英語、楽譜などがある」「地名や人物の下調べが大変だ」「欄外や挿入文書などが多用されていて表現方法が一定でない」など、さまざまな理由で放置されている事と思われます。

まず、下調べに関しては、『読み方調べ辞書』を充実（現在72万件登録済み）させていきます。登録数が増え、未登録のものを探しながら追加している関係上、以前より追加スピードが落ちてきましたが、月5000件以上を目標に作業を進めています。

また、『読み方調べ辞書』に載っていない言葉は、**当方でも調べます**ので、遠慮なく言って下さい。特に、書名、著者名、出版所名など書誌事項に関することはかなりの確率で調べることができます。

次に、図やイラストの多い図書や、部分的に楽譜や数式の出ってくる図書などは、1人で点訳するのに尻込みをしてしまいます。パソコン点訳のいいところは、複数の方に分けて点訳したのも一冊の本としてまとめることが可能です。現在、温泉関係の図書2冊を2グループの方が手がけておられます。わいわい相談しながら進めるのも面白いです。

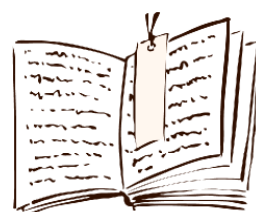
また、楽譜や数式部分だけ、存じの方に点訳してもらい、後で結合するなど色々な方法が考えられます。楽譜チームや英語チームなどに参加されている方もあり、その方に伺うのも一つの方法です。

これといった決定的な方法を提示することはできませんが、皆さまのご協力を仰ぎながら図表の多い図書も利用者に提供できる体制をつくっていきたいと思っています。

蔵書構成の最適化は基本的には、点訳量を増やすこと以外に解決の方法がありません。月平均22冊が長年変わらない実績です。その間、校正体勢の強化など点訳書の質を高める取り組みをしてきましたが、今、点訳量の増加も求められています。少ない製作量では少しの変動で分野別割合が変わってきますし、この程度の冊数では図書館とは言い難いのが現状です。

直ちに多くのことを望むことはできませんが「月25～30冊」を当面の目標として取り組んでいきたいと思っています。皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

原本購入の不便（購入数の見込み違い）によりお渡しできる原本数が不足しております。特に、点訳活動を始められて日の浅い方向けの原本が不足しているとの指摘もいただきました。次回の選書委員会では、多くの図書を選定する予定ですが、手元に届くのに最低1ヶ月はかかるものと思われます。申し訳ありませんが、今しばらくお待ち下さい。



# お知らせ Win-besのバグ

新に購入されるパソコンには Windows98が導入されている関係上、かなりの方が「Win-bes」を利用されています。

さて、現在お使いの「Ver 2.01」に下記のバグがあることが判明しました。修正用プログラムを用意いたしましたので必要な方は声をかけて下さい。修正用プログラムの導入はいたって簡単です。

ただし、修正用プログラムを導入する際、点字フォントが表示されないことがたまにあります。その場合はアンインストールを実施した後、再びインストールしていただければ直ります。

## 2. 01で判明している問題点(6月末日現在)

- ・表示設定の凹凸の音声が逆になっている。
- ・ファイル保管時にフロッピーなどの容量が不足していても警告を出さず、書けるとこまで書いて終わっている。
- ・製品版を残したまま2.01を導入すると製品版がお試し版とみなされる。  
(Win-BES導入後にあらためて1.03などを導入することによって回避できます)

今回配布のフロッピーは、上記の問題点のうち、上2件を修正したものです。WB202.EXE を実行すると改定が始まります。これはプログラム部分だけを新しいものに上書きコピーするもので、他のファイルに影響しません。

### 導入手順：

Win-bes Ver 2.01 が導入されていることが前提です。

フロッピーを入れます。スタートメニューから「ファイル名を指定して実行」を選びます。名前の欄に下記の文字

**a:¥WB202.EXE** ← 大文字でも小文字でも可

を入れ、実行して下さい。

又は、「マイコンピュータ」から「3.5インチ FD(A:)」を選び、「WB202.EXE」をダブルクリックすると、改定作業が始まります。

作業途中で旧版のプログラムの場所を入力する（あるいは確認する）必要がありますので、あらかじめ前回どこに導入したかを調べておいてください。導入したときに特に変更指定していなければ C:¥Program Files¥WIN-BES になっているはずですが。その時は「インストール先の選択」の画面でそのまま[次へ]進んで下さい。後は指示に従ってください。

10月15日、40人程が集まり勉強会が開かれました。今回はカギの扱い、特に二重カギに重点が置かれました。以下報告します。

### 【例題1】

喫茶エレン。

『エレン』の左はパチンコ屋で右は『きらくや』というお好み焼き屋。

この三つの前に『太陽堂スーパー』が建っていて、この辺がいちばん華やかな社交の場なのだった。

#### （点訳例1）

『エレン』 『きらくや』 『太陽堂スーパー』 →  
「エレン」 「キラクヤ」 「タイヨードー◇スーパー」

#### （点訳例2）

『エレン』 『きらくや』 『太陽堂スーパー』 →  
エレン キラクヤ タイヨードー◇スーパー

〈解説〉二重カギは、カギカッコ内を除いて、原則として『書名』『雑誌名』『新聞名』のみに用いています。例のように店の名前を強調する使い方の場合、二重カギの使用は避けたいものです。文脈など考慮して、（点訳例1・2）のふさわしい方を選びます。

### 【例題2】

こうして時は移り、一九八七年、二十二歳になった彼女は、吉本ばなの筆名で「キッチン」を書き、第六回『海燕』新人文学賞を受賞することになる。ぼくはそのニュースを聞き、「へええ、あのマホちゃんがねえ。しかも純文学の新人賞か。お手・・・」

吉本ばなの最初の単行本『キッチン』が出たのはそれから三か月後の一九八八年一月のこと。その中にはその後『海燕』に書いた「満月 —— キッチン2」と、日大芸術学部学部長賞受賞作「ムーンライト・シャドウ」の三篇が収められており、ぼくは・・・

#### （点訳例）

1行目 「キッチン」 → 「キッチン」  
4行目 『キッチン』 → 『キッチン』  
2・5行目 『海燕』 → 『カイエン』

〈解説〉書名『キッチン』・雑誌名『海燕』はそのまま二重カギを用いて書きます。雑誌に掲載された「キッチン」はそのまま第一カギで「キッチン」、単行本に収められている「満月 —— キッチン

2) 「ムーンライト・シャドウ」も、同じく第一カギで書きます。1行目「キッチン」 → 『キッチン』、または、4行目『キッチン』 → 「キッチン」のように点訳しません。

### 【例題3】

いっぽう、歌の得意な赤木シロ・ゴロ兄弟が、テーマソング「未成年の歌」を作詞し、作曲していく。

とうとう、ドラマ『未成年』が、Y市で上演される運びになりましたね。そのすぐあとで、べつのグループが、べつに、ドラマ『未成年』の台本をつくって、それはN市で、じぶんたちの『未成年』を上演して、二千人も観客を集めたというしらせがありました。ドラマ『未成年』は、そういう形で、全国あちこちの未成年の手で上演されていきます。それは、あなたたちの集団が、エレキ・ギターにあわせておどってるみたいな、熱狂的な渦でした。——そこで、わたしが感動したのは、あなたたちのドラマが、うまいとか下手とかじゃなく（しつれい、熱狂的にうけたのですから、うまいのです）小説『未成年』のテーマを、さらに発展させて扱った点です。ベトナム戦争の問題も、日韓条約の一分間強行採決も、国際連帯についても、未成年ひとりひとりの・・・

#### （点訳例）

ドラマ『未成年』 → ドラマ◇「ミセイネン」  
小説『未成年』 → ショーセツ◇『ミセイネン』

〈解説〉この例の場合、ドラマ『未成年』、小説『未成年』と書かれており、はっきり区別できますので、点訳例のようにカギカッコを使い分けます。ただし、二重カギで括られている、例えば『未成年』が書名なのか、映画の題名なのか、ドラマの題名なのかの判断が難しい本もあります。そのような場合は原文通り『』を使用しても構いません。

### 【例題4】

雨はいつしか完全にあがっていた。

2曲目、アルバム『BIRDMAN』から「i d e a」を歌い上げると、「たいせつ」へ。客席へマイクをかざし「一緒に歌おう！」とパフォーマンスを見せる木村。続いて「KANSHAして」に。早くも彼らの体に顔に汗が光る。メンバーそれぞれが多彩な活躍の舞台を持っていても、やはりライブが一番輝いてる瞬間、場所だ。ファンを一人一人見て笑い掛けるのは剛&慎吾。そう、みんなに「KANSHAして」いるかのように・・・。

#### （点訳例）

『BIRDMAN』 → 「BIRDMAN」 または 『BIRDMAN』  
「i d e a」「たいせつ」「一緒に歌おう!」「KANSHAして」 →  
「i d e a」「タイセツ」「イッショニ◇ウタオー!」「KANSHA◇シテ」

〈解説〉この例の場合も例題3と同様、アルバム『BIRDMAN』とアルバムであることが明らかですので第一カギで括ります。曲名とアルバム名を区別する必要がある場合は、原文通り二重カギを使用しても構いません。アルバム名に“ ” や く > のような括弧が用いられている場合は、第一カギ、または、第二カギを使って点訳します。

## [例題5]

その一部を引用させていただく。

『(前略)佐野氏は藤原秀郷公にルーツをたどり現在四十七代に至る、千年に亘り戦乱の世を駆け抜け波乱興亡の歴史を歩んできました。佐野姓は全国に散り、各地で活躍しております。五十五周年の記念事業としまして全国の佐野さんにご参集を賜り、本市との縁を深める交流の場にとの願いから、「全国佐野さんサミット」を企画したところであります。

つきましては、大変ご繁忙のところ誠に恐縮に存じますが、万障お繰り合わせの上、ご臨席の栄を賜りたくご案内申し上げます』

### (点訳例)

・・・◇ソノ◇イチブヲ◇インヨー◇サセテ◇イタダク。

(1行アケル)

◇◇(ゼンリャク)◇◇サノシワ◇フジワラ◇・・・

・・・◇「ゼンコク◇サノ◇サン◇サミット」ヲ◇・・・

・・・◇ゴアンナイ◇モーシアゲマス。

(1行アケル)

〈解説〉この例では、墨字原文の二重カギをそのまま使うことはできません。二重カギを第一カギにし、引用文中の第一カギを二重カギに替えて点訳する方法も考えられます。通常、点訳例のようにカギを省き前後を1行あけて書く場合が多いと思います。引用文のカギを省いた場合、申し上げますの後ろに句点を加えてもよいかどうか問題になりました。句点を付け加えるべきとまでいうことはできませんが、付けた方が自然な文になるでしょう。

## [例題6]

ケイマンは目を閉じてそのイメージを締め出した。

するとまたそれが聞こえた。『ジェシカ、私のジェシカ』その魂からの呼びかけの背後にはマハレの存在が感じられた！突然、マハレの姿が——それまで心のなかの愛の櫃におさめられていた、彼と同じように白く歳を経た彼女の姿が浮かび上がった。それは驚くほどのつらい苦痛を彼に与えた。ケイマンは木の座席にぐったりと背を預けると、わずかに頭を垂れた。それから今度は、鉄の垂木に絡まった醜い黒いワイヤーや錆びた円筒形の照明の一群に目をやった。『君はどこにいるんだ？』

### (点訳例)

『ジェシカ、わたしのジェシカ』 → 「ジェシカ、◇ワタシノ◇ジェシカ」

『君はどこにいるんだ？』 → 「キミワ◇ドコニ◇イルンダ？」

〈解説〉二重カギをそのまま使うことはできません。この『』内の言葉は一種の幻聴のように描かれておりますので第1カッコを使う方法が提案されましたが、やはり第一カギがふさわしいと結論されました。なお、原文で( )で括られていれば点訳でも第1カッコを用います。

[例題7]

とそっくりのことが記してあった。まず「放蕩したあとではみんなから見離されたような気がする」「恋愛とは他者の中へ潜り込もうとするものだが、芸術とは自己の中へもぐり込もうとするものだ」共に、いみじくも云い給いけるよ！ 次には、「宗教が最も偉大である」「人工の極致は道德である」「精神主義者はすべて姐やに惚れるものだ」とあった。

(点訳例1)

・・・◇◇マズ◇「ホートー◇シタ◇アトデワ◇・・・◇キガ◇スル」◇◇  
「レンアイトワ◇・・・◇モグリコモート◇スル◇モノダ」◇◇トモニ、◇  
イミジクモ◇イイタマイケルヨ！

(点訳例2)

・・・◇◇マズ◇「ホートー◇シタ◇アトデワ◇・・・◇キガ◇スル」◇◇  
「レンアイトワ◇・・・◇モグリコモート◇スル◇モノダ」◇◇トモニ、◇  
イミジクモ◇イイタマイケルヨ！

(点訳例)

・・・！◇◇ツギニワ、◇「シューキョーガ◇モットモ◇イダイデ◇アル」◇◇  
「ジンコーノ◇キョクチワ◇ドートクデ◇アル」◇「セイシン◇シュギシャワ◇  
スベテ◇ネエヤニ◇ホレル◇モノダ」ト◇アッタ。

[例題8]

「そのあと、ママはあたしに当たりちらしたわ、こう言うの、『この間抜け、なんだって斧のことなんか喋る必要があるの？』『なにさ』こっちもやり返したわ。『本当のことじゃないの？』『この間抜け』ママはもういっぺん言い直して、あたしを殴りつけようとしたわ。みんな大喜びよ。でもジョルジュがママをなだめたの、それにママは見ず知らずの人たちから褒められたのが得意で、もうほかのことは頭になかったの。ともかく、しばらくの間は」

(点訳例)

・・・、◇コー◇イウノ、◇『コノ◇マヌケ、◇ナンダッテ◇・・・◇  
ヒツヨーガ◇アルノ？』◇◇『ナニサ』◇◇コッチモ◇ヤリカエシタワ。

〈解説〉例題7・8はカギカッコが続いた場合、その間を何マスあけるかの問題です。

例題7の まず「放蕩したあとでは・・・」「恋愛とは・・・」共に、いみじくも云い給いけるよ！の箇所には2通りの解釈が出されました。(点訳例1)はこの箇所が三つの文から構成されたと解釈した場合の点訳例です。(点訳例2)はこの箇所は一つの文であると考えた場合の例です。点訳の問題というより解釈の問題のようです。

次には、「宗教が・・・」「・・・」「・・・」とあった。の部分は一文ですので(点訳例)のように1マスアケでつないでいきます。

例題8の ・・・当たりちらしたわ、こう言うの、『この間抜け、・・・』『なにさ』こっちもやり返したわ。の部分は三つの文で成り立っているので、文の区切りでそれぞれ2マスあけます。

[例題9]

そこにどんなことが書いてあるかといいますと、冒頭はこう始まります。

「わたくしの近頃書いた、歴史上の人物を取り扱った作品は、小説だとか、小説でないとか云って、友人間にも議論がある。」

これは、当時、確かにいろんなことを言われたのです。今から見ると名作だと思うものでも、いろんなことを言われている。新聞の投書などで、貶されてもいるのです。

(点訳例)

・ ・ ・ ◇ イイマスト、◇ ポートーワ ◇ コー ◇ ハジマリマス。

(1行アケ)

◇ ◇ ワタクシノ ◇ チカゴロ ◇ カイタ、◇ ・ ・ ・ ◇ ギロンガ ◇ アル。

(1行アケ)

◇ ◇ コレワ、◇ トージ、◇ タシカニ ◇ ・ ・ ・

〈解説〉勉強会では、点訳例のほか、引用文のカギカッコをつけたまま、前後を行アケしないという方法も提案されました。しかし、次に来る本文がカギカッコで始まる場合、区別がつきにくく混乱するので、避けたほうが良いとのことでした。

実は、この原本には、カギカッコで括られた引用文と一緒に二・三列挙されている箇所があるそうです。その場合は、原本通り第一カギを用いて書くことになります。

[例題10]

「(永住帰国のための)費用はどこから出るのでしょうか」  
「渡航費用はこちらの会(「サハリン再会支援会」)で負担します」  
「いえ、渡航費用だけでなく、韓さんの生涯の生活保障です」

(点訳例) 2行目

◇ ◇ 「トコー ◇ ヒヨーワ ◇ コチラノ ◇ カイ (サハリン ◇ サイカイ ◇ シエンカイ) デ ◇ フタン ◇ シマス」

〈解説〉強調に使われているカギ類は、点訳の際、省くことがあります。この例は明らかに省きたい例です。

[例題11]

「この“四本の柱”は、わが校のモットーであります。そしてまたこのことばは、諸君の生涯にわたる礎石となるであります。」

「ウェルトン・ソサエティ会員候補者、リチャード・キャメロン」  
ノーランが名前を呼ぶと、旗手のひとりがはじかれたように立ち上がった。



(点訳例)

◇◇「コノ◇4ホンノ◇ハシラワ、◇ワガコーノ◇・・・◇  
アリマショー。

◇◇ウェルトン・◇ソサイエティ◇カイイン◇コーホシャ、◇リチャード・◇  
キャメロン」

〈解説〉“四本の柱”のコーテーションマークは例題10と同様省くことができます。幾度か繰り返して使われる場合は、初出の時は第二カギを用いて括り、次からは省くという方法もあります。

次に、この例文では分かり難いのですが、翻訳本では

「・・・。

「・・・。

「・・・。」

のように段落のたびに開き記号が付されていることがあります。当然ですが2番目、3番目の開き記号は省きます。

## お知らせ 勉強会

次回の勉強会は、テーマを設定せずに、自由に交流・談話をしていただくことになりました。点訳ルール以外で、日頃感じている疑問や感想などお聞かせ下さい。

また、私たちが苦心して点訳している表などを、音訳の方々はどのように処理しているのか、音訳されたテープをお借りして聞いてみようと考えています。

皆様の参加をお待ちしております。

2000年 2月2日 (水) 午後 1:30~

6F ボランティアルーム



# 読み方調べ

## ご存じですか

車籠埔断層	チェルプーだんそう
渡辺泉郎	わたなべ、もとお
酒寄美久	さかより、よりひさ
永山洋右	ながやま、ようすけ

車籠埔断層は、台湾大地震の震源近くの断層です。また渡辺泉郎、酒寄美久、永山洋右は、不正やもみ消しなどで悪名を振りまいた神奈川県警の元幹部と被告です。

この様に、新しい情報も積極的に取り入れています。時間をかけて冊子式の辞書を調べる前に、ぜひ活用して下さい。使い方のわからない方は、木村・中村まで声をかけて下さい。遠慮はいりません。

■吹田市在住の北嶋玉枝さんから『角川日本地名大辞典』全51冊を寄贈していただきました。現代地名から歴史地名、通称名、自然地名など、地名に関するものが網羅されています。都道府県別に分冊されており使い勝手も抜群。どうぞご利用下さい。

■日外アソシエーツの『現代日本地名よみかた大辞典』、日本交通公社の『旅蔵』のデータを取り込み中です。『現代日本地名よみかた大辞典』は字名も記載されており<sup>あざ</sup>現存する地名を網羅しています。

また『旅蔵』は旅館名や温泉名など地名以外のデータも含んでおり、旅行書などの点訳には大いに役立ちます。乞ご期待下さい。

■俳句や短歌などの作者名のリストをお持ちの方はおられませんか。同人誌などで多くの方が投句されておりますが、無名の方が多く、辞書で調べるのが困難です。もし、俳人や歌人の一覧表をお持ちの方はぜひお貸し下さい。

■また、作詞・作曲家やゴルファーの人名も苦手とするところです。もし資料をお持ちの方はぜひ紹介して下さい。

■LANで繋がっているいずれのパソコンからも同じように検索できます。電源が入っていない場合は、自由に入れて下さい。パスワードを入れる画面があらわれますので、半角小文字で「iccb」と入力し改行キーを押して下さい。LANに接続され検索が可能になります。

